

大和住銀 日本グロース株ファンド

『愛称：海のくに』

主に日本の株式に投資を行う投資信託です。



格付：**C + 3**



属性

投資信託

対象

日本の株式

利回り

-3.26%

概要

日本グロース株マザーファンドへの投資を通じて、日本の株式を主要投資対象とし、信託財産の長期的な成長を図ることを目標に運用を行う。11月決算。

リスク

流動リスク:	N/A
価格リスク:	基準価格
為替リスク:	—
信用リスク:	N/A
その他:	N/A

※N/Aは、該当なし (not applicable)

運用元：大和住銀投信投資顧問株式会社

Web: <http://www.daiwasbi.co.jp/index.html>

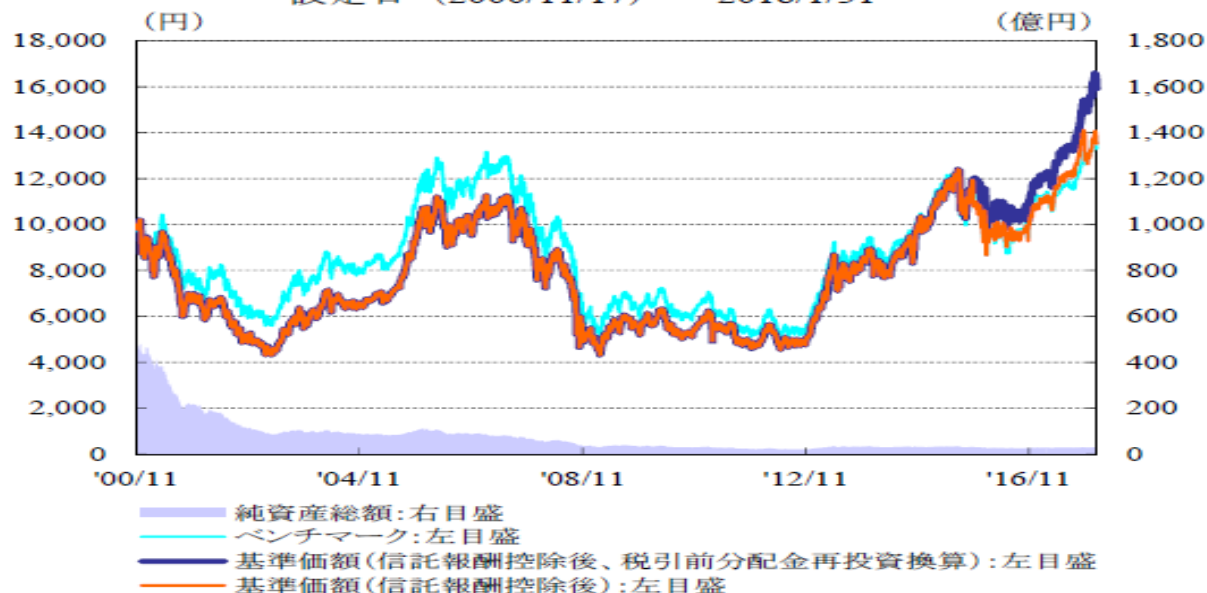
所在地：東京都千代田区霞が関三丁目2番1号
霞が関コモンゲート西館

Summary

国内民間企業の設備投資拡大による恩恵を受けうる銘柄群に注目し、人手不足からくる省人化ニーズの高まりや、設備の老朽化、またここ数年の好業績による企業の財務体質改善もあり、保守的な企業にあっても設備投資の拡大に踏み切りやすい素地が出来つつあると推測。1月の日本株式相場は、世界景気の拡大期待や堅調な海外株式動向から引き続き上昇したものの、対米ドルで円高の動きが強まったことから月末にかけては弱含んだ。相場の先行きに関しては、当面は上値の重い展開を想定。国内企業の10-12月期決算は機械、電機精密など輸出系企業を中心に非常に強い数字となっているが、決算発表後の株価の反応が鈍い会社も多く、投資家は先行きの増益ペース鈍化を懸念しているように感じられる。しかしながら、世界的な景況感の強さや足元の好調な企業業績など、株式投資を行う上での好材料は引き続き多く、日柄調整後の相場上昇には引き続き期待を有することから、本投資信託では、大きく株価上昇した銘柄の利食いを着実にしつつ、2018年度以降にも高い成長が期待できる銘柄の発掘を続けていくとしている。以上を踏まえ、リターン面を「C+」、リスクを「3」と判断する。

◆ 基準価額・純資産総額の推移

設定日 (2000/11/17) ~ 2018/1/31



Note: 本資料は格付情報提供を目的としており、投資勧誘を目的としているものではありません。資料に掲載されている情報の作成には万全を期していますが、当該情報の完全性を保証するものではありません。本資料から得た情報を利用したことにより発生するいかなる費用又は損害等の一切について責任を負いません。